

特集雑誌

自由国民

自由国民・第一三八号
昭和卅六年五月十五日発行
昭和廿四年四月十一日国鉄
特別扱承認雑誌九七四号

特別号

5

15日

自由国民社
発行

現代用語 の基礎知識

時代の鼓動を反射する新語年鑑

1961年版

近藤康男	山口茂	鈴木武雄	山田秀雄	長洲一二	高島善哉	高木惣吉	鷓鴣信成	辻清明	中村哲	横田喜三郎	時局用語	分担執筆	六十二氏	各界の権威			
山田肇	吉田秀和	今泉篤男	本多顕彰	江上波夫	辻村太郎	西岡虎之助	林健太郎	戸川行男	宮原誠一	岸本英夫	高桑純夫	文化用語	宮川実	大河内一男	野田全治	山城章	上坂西三
津村秀夫	春日由三	森崎実	城戸又一	大宅壮一	日常用語	和達清夫	竹内端夫	萩原雄祐	宮木高明	杉靖三郎	高橋吉定	湯浅明	朝比奈貞一	藤岡由夫	茅誠司	辻二郎	科学用語
池田雄蔵	吉田健一	野村正七	福田蘭童	桑田忠親	高川格	木村義雄	渡辺義雄	山野愛子	マダムマサコ	黒田初子	平井信義	氏家寿子	清家清	吉川義雄	服部良一	神田順治	織田幹雄

いま・これだけ飛んでいる

宇宙の新しい住民たち すでに死滅しているものもある

(1961年3月10日現在)

本文 宇宙用語・工学用語参照

バイオニア5号——人工惑星
(1960・3・11——ア)

バイオニア4号——人工惑星
(1959・3・3——ア)

自動惑星間ステーション——人工惑星
(1961・2・12——ソ)

宇宙ロケット1号——人工惑星
(1959・1・2——ソ)

太陽

エクスペローラー7号
(1959・10・13——ア)

エクスペローラー6号
(1958・8・7——ア)

エクスペローラー8号
(1960・11・3——ソ)

宇宙ロケット2号——月へ到達
(1959・9・12——ソ)

宇宙ロケット3号——月の裏側撮影
(1959・10・4——ソ)

エクスペローラー4号
(1958・7・26——ア)

トランシット1B——航海衛星
(1960・4・13——ア)

トランシット2A——航海双子衛星
(1960・6・22——ア)

トランシット3B
(1961・2・22——ア)

宇宙船衛星1号(1960・5・15——ソ)
2号(1960・8・19——ソ)※
3号(1960・12・1——ソ)※
4号(1961・3・9——ソ)※

スプートニク1号
(1957・10・4——ソ)

スプートニク2号
(1957・11・3——ソ)

スプートニク3号
(1958・5・15——ソ)

サモス——偵察衛星
(1961・1・31——ア)

バンデンバーグ
ポイント・アークロ

チューブ・イム
カプセル

ワロップス島
ケープカナベラル

イスボリン衛星
(1961・2・4——ソ)

金星ロケット基地衛星
(1961・2・12——ソ)

エクスペローラー9号
(1961・2・16——ア)

クーリエ1日
(1960・10・4——ア)

ミダス——CBM発射探知用
(1960・5・24——ア)

ディスカバラー2号
(1959・4・13——ア)

ディスカバラー1号
(1959・2・28——ア)

ディスカバラー11号(1960・4・15——ア)

5号(1959・8・13)	6号(1959・8・19)
7号(1959・11・7)	8号(1959・11・20)
13号(1960・8・10)	14号(1960・8・18)※
15号(1960・9・13)※	17号(1960・11・12)※
18号(1960・12・7)※	19号(1960・12・20)
20号(1961・2・17)	21号(1961・2・18)

タイロス1号——気象衛星
(1960・4・1——ア)

タイロス2号——気象衛星
(1960・11・23——ア)

アトラス・スコア
"アイクのクリスマスメッセージ"
(1958・12・18——ア)

エクスペローラー1号
(1958・2・1——ア)

エコー通信衛星
(1960・8・12——ア)

バンガード2号
(1959・2・17——ア)

エクスペローラー3号
(1958・3・26——ア)

バンガード1号
(1958・3・17——ア)

バンガード3号
(1959・9・18——ア)

カッコ内は打ち上げた年月日と打ち上げた国(ア=米国、ソ=ソ連)

は最終段ロケットもともにまわっていることを示す

はすでに落下したものゝを示す

※は衛星の全部または一部が地上に回収されたもの
作成・岸田純之助(科学朝日)
画・野村敏雄

増補

一九六一年版



ここには昭和三十五年八月から最近までに登場した新語を収載したが、新語に関連する基本語も補充した。項目の配列は本文に順じ、用語の配列は時代の動

きが把握できるようにした。その意味で特に受験生には必読のページと考える。アイウエオ順索引は総合索引の後に、増補語索引としてつけてある。

時事用語

国際政治

二つの中国 中国本土の中

華人民共和国と台湾の中華民国という二つの国家が中国に存在するとみる見かた。アメリカのケネディ政権下では、さらに、ポールズ國務次官の論文にあらわれているような、台湾を独立の共和国にするという考え方も出ているが、中国を二つに分けているという点では、これも「二つの中国」論である。「二つの中国」論は、根本においては、台湾を中国の領土であるとしな

である。

台湾の帰属 第二次世界大

戦中の一九四三年十一月二十七日、主要連合国の元首が日本の領土問題に関して公式の決定を行なったカイロ宣言では、台湾および澎湖島は、日本国が清国人から盗取した地域として、中華民国に返還すると規定されていた。日本の降伏の条件を定めたポツダム宣言は、カイロ宣言の条項の「履行されるべきこと」を明示し、それを日本が受諾した。これによって台湾が中国に帰属することはほとんど確定した。これをさらに形式的にも確定するために、一般的な国際法の原則により、戦後の領土処理の問題として、平和条約に明文化する手続きが残されているにすぎなかった。ところが、中国の内戦に敗れた国民政府が、四



九年末台湾に移るに及んで、あの形式的確定がいまいにされるようになった。それでも、五〇年一月五日のトルーマン米大統領の公式声明、アチソン國務長官の言明では、台湾が中国の領土であることに疑義はないと述べられている。しかし、朝鮮戦争のぼつ発、中国義勇軍の参戦、中華人民共和国の支配権の確立とともに、帰属の決定はぼかされて、五一年九月の対日平和条約第二条では、台湾および澎湖島にたいする日本の領土権の放棄が規定されたにすぎない。ここから、イギリスやカナダのように、台湾は法的にその帰属が未決定の地域であり、終局的には国際会議によって決定されるべきだという議論もでてくる。

中国の国連加盟

正式には

中国の国連代表権の問題である。中華人民共和国は一九四九年十月一日に成立したが、同年十一月十五日、外交部長周恩来の名で、国連事務総長あて「中国国民政府代表団」が、法律上も事実上も中国を代表する根拠を失ったとして、その一切の権利の取り消しと、その追放を要求した。第五回国連総会は、五〇年十二月十四日、「国連における加盟国の代表権の承認に関する決議」を採択して、この問題に關し総会（会期中でないときは中間委員会）が採った態度を、国連の他の機関が考慮すべきことを勧告した。次の第六回総会から、アメリカが中国の代表権問題の審議を一年延期する案を出し続けて毎年賛成をえてきた。しかし、第十五回総会では、賛成四十二、反対三十四と賛否の差が接近するとともに、新加盟のアフリカ諸国をはじめとして棄権が二十二の多くにのぼったので、にわかにアメリカの棚上

昭和三十六年(二六二)

- 1.1 岩手県松尾小学校の学童十人将棋倒して圧死。
- 1.3 米、キューバと断交声明。
- 1.7 アフリカ首脳、カサブランカ会談、アフリカ憲章発表。
- 1.8 仏、アルジェリア政策で国民投票実施(ド大統領支持)
- 1.14 アイク米大統領、海外での金保有禁止令を出す。
- 1.18 大蔵省、米四銀行にADR発行を許可。
- 1.20 ケネディ米三十五代大統領就任式。
- 1.22 ポルトガル客船サンタ・マリア号、カリブ海で反政府派に乗っとらる。
- 1.25 日銀公定歩合一厘引下げ
- 1.28 第三十八通常国会開会。
- 2.1 マクミラン英首相、ドゴール大統領、パリで会談。
- 2.29 ルアンダ、共和国宣言。
- 2.31 アメリカ、ロケットからチンパンジー回収。サモス2号打ち上げ。
- 2.1 嶋中事件起こる。
- 2.1 ADR発行無期延期決定。
- 2.2 ケネディ米大統領、軍人家族の海外旅行制限解除を発表。
- 2.4 ソ連六トン半の人工衛星打ち上げ。
- 2.12 ソ連金星ロケットを発射
- 2.13 ルムンバ・コンゴ首相らの殺害発表さる。
- 2.15 ベルギー旅客機墜落、七十三人死亡。
- 2.16 米エクスプローラー9号打ち上げ。
- 2.17 米ディスカバラー20号打ち上げ(2.18 21号)。
- 2.19 日本医師会、歯科医師会全国一斉休診。
- 2.21 安保理、A・A三国のコンゴ内戦防止決議案を可決。
- 2.21 赤尾愛国党総裁、嶋中事件で逮捕。
- 2.24 飯守判事「テロの遠因は左翼の集団暴力」と感想発表。
- 2.26 モハメッド・モロッコ国王死去、ハッサン二世即位。
- 3.5 西独、マルク切り上げ(ドル||四マルクとなる)。
- 3.7 社会党大会、構造改革論で論議(8 河上委員長選出)。
- 3.8 英連邦首相会議、中共の国連加盟支持に一致。
- 3.9 筑豊上清炭鉱で坑内火事七十一人死亡。
- 3.13 新島村議会でミサイル議案可決。
- 3.14 新駐日米大使にライシャワー教授を指名。
- 3.15 石田労働相、公労委に職権仲裁請求(27 裁定出る)。
- 3.15 南阿連邦、5.31以降英連邦からの脱退を声明。
- 3.16 筑豊大辻炭鉱で火災、二十六人遭難。
- 3.21 核実験停止会議再開。
- 3.25 ソ連、人工衛星船第5号打ち上げ、同日回収に成功。
- 3.27 米英首脳、キーウエストで会談。
- 3.28 ラオス問題でケネディ米大統領、グロムイコ・ソ連外相会談。
- 4.5 ケネディ、マクミラン米英両首脳、ワシントンで会談(8日まで)。

世界の国旗の由来

国名の下番号は口絵の「国連の歩み」に符号します

国旗研究家

尾花良二



アメリカ ①

独立時の十三州(横線)、現在の五十州(左上の五十の星)を表わす。ジョージ・ワシントンの説明では星は天体から、赤はイギリス国旗

からそれぞれとり、白い筋は母国からの分離を意味するという。

アラブ連合 ②

マホメッド(緑)、平和(白)、合併した旧エジプト、旧シリアの二州

アルゼンチン ③

進取と希望(青)、上は大空、下は大平野、ラプラタ河と寛容(白)の象徴。

イギリス ④

イングランドの旗・聖ジョージ(白地に赤十字)、スコットランドの旗・聖アンドル(青地に白の斜十字)、アイルランドの旗・聖パトリック(白地に赤の斜十字)の三つを組み合わせたもの。

イラク ⑤

マホメッドの印(黒)、王朝の旗じるし(緑、白、赤、黄)、アラブ人とクルト人(星と円)を意味する。

イラン ⑥

回教(緑)、民族を護る情熱(赤)、

インド ⑦

平和(白)、バビロンの印・王の象徴(ライオン)。
車の紋章は紀元前三世紀、仏教の支配者アショカ王の「真理の車輪」と呼ばれる印で、インドの古代文化の象徴である。動きと徳、したがって、平和な変化を意味する。仏教の法の輪であるから、柔順、友愛、協調の理想を表わすとも、また永遠、興隆、博愛を意味するともいわれる。濃いサフランは克己、謙譲、清廉または勇気の精神

を、白色は光の道、真実、平和を、緑は国土または誠実を表わすといわれる。

ウルグアイ ⑨
太陽と共和国を構成する地方数の横線。青と白の色は昔、アルゼンチンと合同していたことから。

エクアドル ⑩
大洋(青)をはさんでアメリカ(黄)とスペイン(赤)はへだてられ、紋章はチンボラ火山、太陽、海と汽船、コンドル、斧、国旗などから成る。

エチオピア ⑪
(1)地方を表わす三色。(2)虹の色。(3)天帝(黄)、キリスト(赤)、聖霊(緑)の三位一体、を象徴するなどの諸説がある。

オーストラリア ⑫
南十字星の五つの小さな星、六州とタスマニア島を表わす七つの角をもつ星。

オランダ ⑬
オレンジ公家の旗がもとで、オレンジが赤と見間違えられて、そのまま伝わった。

カナダ ⑭
英、スコットランド、アイルランド、仏四国の紋章の組み合わせとカエデの葉。

キューバ ⑮
三本の青線は三地方と共に科学、道徳、美を意味し、三角は平等と自由と各国との友愛、星は独立を表わすとされる。

ギリシア ⑯
白十字は古くからのギリシアの紋

でありキリスト教の印である。独立時迎えた独のパバリア王家の旗から青と白を用いたといわれ、九本の筋はアキレスの金の楯とか、ミューズの九神とか諸説ある。

グアテマラ ⑰
紋章は剣と銃の上に国鳥ケサル、中央の標札に独立日が記され、大洋(青)をはさむ兩岸の国が平和(白)を進めるの意。

コスタリカ ⑱
青と白は中米連邦建国時の色、紋章は三個の火山と五つの星、帆船と朝日の風景。

コロンビア ⑲
鉱物の豊かさ(黄)、自由のための血(赤)、太平洋とカリブ海(青)を表わすという。赤と黄はスペイン伝来の色。

サウジアラビア ⑳
回教の色(緑)、アラビア語による聖典の文字。コーランが剣かで、異教徒を征服した回教精神を表わす。口絵ではこの旗のみ右側へ竿がくる。

サルバドル ㉑
独立時の中米連邦の青と白を伝承した。紋章は五本の国旗とオリブの枝で囲むなかに、海と五つの火山、朝日などからなる。

ソ連 ㉒
人民革命の色(赤)、鎌とハンマーは農民と工業労働者をあらわし、それが交差しているのは二者の一致、星の五つの先端はマルクス主義のあまねく行き渡る五大大陸を象徴する。

チェコ ㉓

ボヘミア(白)、モラビア(赤)、カルパチア山脈(青三角)を表わす。

中華民国 ㉔
晴天明白、世界に及ぼすの理想、自由平等をあらわし、具体的には犠牲(赤)、正義(白)、清浄(青)、十二本の光線は十二支、十二月、十二宮の思想の表現。

チリ ㉕
独立を援助したアメリカの国旗を模し、情熱(赤)、アンデス山脈の雲(白)、空(青)、南極星(星)、星の先端は Chile の五文字を表わすといわれる。

デンマーク ㉖
一二九二年、国王が天から授けられたといわれ、世界最古の国旗。ダンネブログと呼ばれる。白十字は十字架を表わす。

ドミニカ ㉗
白十字は信仰。紋章のなかの聖書は光と真実、ヤシと月桂樹は光栄と不滅の意。

トルコ ㉘
三日月は月の女神ダイアナ、星はコンスタンチノーブルを占領したとき三日月の中に星が現われたこととからとったという。また一説にはトルコ人が第三回十字軍に遠征したりチャード獅子玉の旗から借りたものだとされる。昔は三日月だけで、星はつかなかった。

ニカラグア ㉙
中米連邦共和国の青と白、国名を記した円周、三角形の各辺は正義、真実、権利を表わし、なかは虹(平和)、五火山、海、朝日からなる。

ニュージーランド ㉚

星は南十字星を表わす。

ノルウエー ㉛
デンマーク国旗が基。熱血(赤)、雪(白)、土地と海洋(青)を表わし十字架を象徴する。

ハイチ ㉜
紋章は大砲、銃剣(尚武の精神)からなり、青は自由、赤は革命を表わすとともに、また黒人とミュールト人(黒人混血)の協力を示す。

パナマ ㉝
青と赤は二つの政党、星は独立を表わす。

パラグアイ ㉞
はじめ紋章なく、フランスの抗議で紋章を入れたが、旗の表と裏で違うのが特徴。

フィリピン ㉟
自由と正義(太陽)、独立運動を起こした八州(八本の光線、ルソン、ビザヤ、ミンダナオ(三つの星)、平等または団結(三角))。

ブラジル ㊱
植物(緑)、鉱物(黄)が豊富、ダイヤモンド(菱形)を産出し、首都で見た星座(星は州の数だけ)に、「秩序と進歩」の文字が白帯に描かれる(赤道ともいわれる)。青は空を意味し、緑と黄は独立宣言日の国王ペドロ一世の服の色ともいわれる。

フランス ㊲
(1)自由(青)、平等(白)、博愛(赤)。(2)パリ市(青と赤)、ブルボン王家(白)。(3)サンマルタンの頭巾(青)、オリフラム(赤)、ブルボン王家(白)。(4)正義(青)。

ペネズエラ ㊳
星は七州を表わし、コロンビア、エクアドルと同じくアメリカとスペインの間に大洋があるというのが色の意味。

ペルー ㊴
紋章はキナ樹、家畜リマ、宝の角から金貨がこぼれ、動植物の豊富さを表わす。

ベルギー ㊵
独立運動の中核ブラバント公の色と紋章をとり、革命の勝利(赤)、円熟(黄)、力(黒)。

ボリビア ㊶
動物(赤)、鉱物(黄)、植物(緑)の豊富さを表わし、紋章はポトシ山、動物のアルパカ、小麦束、パンの木、朝日、月桂樹、巨鳥コンドルなどからなる。

ホンジュラス ㊷
青は大西洋と太平洋、白は自国。五つの星は中米共和国時の五つの小共和国の記念。

南アフリカ ㊸
旧オランダ国旗に英、旧フランス、パール、旧オレンジ国の旗を連ねたもの。

メキシコ ㊹
独立(緑)、宗教(白)、団結(赤)。紋章はサポテンの上の鷲が蛇をくわえている図で、先住アステク族の伝説による。

ユーゴ ㊺
ユーゴスラビアとして合併する前のセルビア、クロアチア、モンテネグロの旗の色で、天、光、血

をも意味し、星の五先端は国を構成する五民族を示す。

リベリア ④⑦

米国旗を模し、独立宣言署名の十人(横線)とただ一州(星)から成るの意。

ルクセンブルク ④⑧

十三世紀のルクセンブルク印章による。

レバノン ④⑨

レバノン杉は国のシンボル、神聖、平和、永遠を示す。純潔(白)、独立への犠牲(赤)。

ポーランド ⑤⑩

平和(白)、自由(赤)。

アイスランド ⑤⑪

北欧諸国と同じく十字架を表わすアフガニスタン ⑤⑫

独立のために流した血(赤)、暗黒からの前進(黒)、将来の希望(緑)。紋章は回教寺院と麦で信仰と農作物の象徴。一説には暗黒時代(黒)から闘争時代(赤)を経て平和(緑)に到達したともいわれる。

スエーデン ⑤⑬

青空にキリストの十字架、王家の旗の色。デンマークから分離独立したので、同じ十字架が使われている。

タイ ⑤⑭

王室(青)を中心に人民(赤)が宗教(白・仏教)を結び団結していくの意味。赤と白は平和を表わすという説もある。

イエーメン ⑤⑮

独立と国家のための血(赤)、アラブの伝統的しるしの剣、五地域を表わす五星。

表わす五星。

パキスタン ⑤⑯

回教徒(緑)と非回教徒(白)を表わし、三日月と星は国民の統一と平等を表わす。

イスラエル ⑤⑰

ユダヤ人の祈禱の肩掛け(青)、中央の星に似た形はダビデの楯で国家安全の象徴。

インドネシア ⑤⑱

ヒンズー教の神ビシュヌの特性を表わすと考えられている。自由と正義を象徴する組み合わせ。

アルバニア ⑤⑲

この民族は鷲の子孫という伝説がある。熱血(赤)、戦いの悲嘆の気持(鷲の黒)、東洋と西洋の中間に位置する(鷲の双頭の意)。

イタリア ⑤⑳

赤、白はサボイ家の色といわれ、緑は国土の美しさあるいは国家統一の希望。

エール ⑤㉑

(1)カトリック派(緑)、新教派(オレンジ)、両者の平和(白)。(2)古来うたわれたエメラルド島(緑)、オランダから迎えた王(オレンジ)、清浄と自由(白)などの説がある。

オーストリア ⑤㉒

サラセン人と戦ったときの血、ペルトほどに減ってしまった領土を表わすという。

カンボジア ⑤㉓

アンコールワットの塔が染めぬいてある。

スペイン ⑤㉔

(1)フランス王チャールズが同盟者のバルセローナの伯爵が受けた傷から流れ出る血に指を浸し、黄色の楯に線を引き出したところから。(2)アラビア人、ナボレオンに反抗した父祖の血(上下の赤)、スペイン人が発見した南米の富(黄)を表わすの二説がある。

タミル人(サフラン色)、ムーア人(緑)、王朝の先祖(ライオン)を表わす。セイロンの名はサンスクリット語でライオンの島という意味である。

ネパール ⑤㉕

三日月が満ちるように国家が発展繁栄することを意味する。

ハンガリー ⑤㉖

革命(赤)、平和(白)、希望(緑)を表わす。

フィンランド ⑤㉗

湖(青)、雪(白)、向上心、希望(青十字)。

ブルガリア ⑤㉘

平和(白)、肥沃(緑)、警戒とも武勇忍耐とも人民の血を表わすとも(赤)いわれる。

ポルトガル ⑤㉙

中世の国民の雄図(天球儀)、五王族を破った勝利の記念(五楯)、キリスト受難の五剣(楯の中の五白点)、聖ベネディクト騎士団(緑)、革命(赤)。

ヨルダン ⑤㉚

ハシム王家の紋の色(赤)、コーランにあるアルタリク星(星)、初期回教時代のアバシッド朝、オムマ

ヤ朝時代(黒、白、緑)を表わす。

ラオス ⑤㉛

仏教の使い(白象)。

リビア ⑤㉜

フェザン(赤)、トリボクニア(緑)、キレナイカ(黒)の三地域、回教の印(三日月、星)。

ルーマニア ⑤㉝

モルダビア(青・空)、オルテニア(黄・国の富)、ワラキア(赤・勇氣または自由)地域、紋章はカルパチア山脈とその森林、油田、麦など、豊富な資源を意味するといわれる。

チュニジア ⑤㉞

星と三日月は回教のしるし。

モロッコ ⑤㉟

星はソロモン王の印綬。ヘンタグラムと呼ばれる。マホメット教徒はこれに魔除けの力があると信じている。

日本 ⑤㊱

日の丸は太陽の表現から出たといわれ、誠実、円満、白は清浄、純潔、冷静、平和、公平を表わす。

ガーナ ⑤㊲

独立のため戦った人(赤)、ゴールドコーストの前地名通り金(黄)、植物(緑)、自由(黒)、五地方(星の五角)を表わす。

マラヤ ⑤㊳

十一州(横線と星の光線)、回教(三日月と星)、マラヤ、イギリス、英連邦諸国との協力と友情(青、赤、白)。

ギニア ⑤㊴

アフリカの太陽(赤)、黄金であり

アフリカの光(黄)、樹木、農産物で合邦の象徴(緑)とセク・トーレ大統領は説明する。

《国連未加盟国》

韓国 ①

男女、水火、天地の陰陽関係(中央ともえ)、易にいう宇宙の根本原理の水、火、天、地(黒棒)。

北朝鮮 ②

赤と青は朝鮮の昔の旗の色といわれる。

中華人民共和国 ④

(1)漢民族(大きな星)、満、蒙、蔵、回族(小さな星)。(2)人民協商会共同綱領と労働者、農民、中産階級、愛国的資本家の四階級を表わすとの説がある。

西ドイツ ⑤

ワイマール時代の旗の復活。勤勉と力(黒)、熱血(赤)、金・名誉(黄)を示し、フリードリッヒ一世即位時の敷物の色との説もある。

東ドイツ ⑥

色の意味は西独と同じ。農業(麦)、工業(ハンマー)、科学(コンパス)を象徴する紋章。一九五九年からこの国章をつけて、西独と区別するようになった。

南ベトナム ⑦

トンキン、アンナン、コーチシナの三国(三本の赤線)、国民(赤)、ベトナム人の皮膚とも旧王朝の色(黄)ともいわれる。全体で為政者と国民の協力関係を表わす。

モンゴル ⑧

紋章は炎、日、月、三角、陰陽を意味するともえ、蓮台からなる。

原加盟国51カ国

1945年6月26日、国際連合憲章に調印した50カ国と選れたポーランド。エジプトとシリアは1958年にアラブ連合となった。



① アメリカ ② アラブ連合 ③ アルゼンチン ④ イギリス ⑤ エチオピア ⑥ オーストラリア ⑦ オランダ ⑧ カナダ ⑨ キューバ ⑩ ギリシャ ⑪ チェコ ⑫ 中民国 ⑬ チリ ⑭ デンマーク ⑮ ドミニカ ⑯ トルコ ⑰ ニカラグア ⑱ ニュージーランド ⑲ ノルウェー ⑳ ハイチ ㉑ 白ロシア ㉒ パナマ ㉓ パラグアイ ㉔ フィリピン

国連の歩み

51カ国から99カ国へ

1945年に成立して以来の今日までの発展を加盟国の国旗をもって表わしたものです。日本は56年に世界の仲間入りをしました。なお国際連合については本文「国際政治」の項を参照。

国旗の由来については本文末尾参照。



⑳ グアテマラ ㉑ コスタリカ ㉒ コロンビア ㉓ サウジアラビア ㉔ サルバルドール ㉕ コンゴ ㉖ 北朝鮮 ㉗ 北ベトナム ㉘ 中華人民共和国 ㉙ 西ドイツ ㉚ 東ドイツ ㉛ 南ベトナム ㉜ モンゴル

1946年加盟
4カ国



⑳ アイスランド ㉑ アフガニスタン ㉒ スウェーデン ㉓ タイ

1947年加盟
2カ国



㉔ イエメン ㉕ パキスタン

1948年加盟
1カ国



㉖ ビルマ

1949年加盟
1カ国



㉚ イスラエル

1950年加盟
1カ国



㉛ インドネシア

1955年加盟
16カ国



㉜ アルバニア ㉝ イタリア ㉞ ギリシャ ㉟ オーストリア ㊱ カンボジア ㊲ スペイン ㊳ セイロン ㊴ ネパール ㊵ ハンガリー ㊶ フィンランド ㊷ ブルガリア ㊸ ポルトガル ㊹ ヨルダン

1956年加盟
4カ国



㊺ スーダン ㊻ チュニジア ㊼ モロッコ ㊽ 日本

1957年加盟
2カ国



㊾ ガーナ ㊿ マラヤ

1958年加盟
1カ国



㊿ ギニア

1960年加盟
17カ国



㊿ セネガル ㊿ マリ ㊿ ナイジェリア ㊿ キプロス ㊿ コンゴ(旧仏領) ㊿ コンゴ(旧ベルギー領) ㊿ 象牙海岸 ㊿ ソマリア ㊿ ガボン ㊿ チャド ㊿ 中央アフリカ ㊿ トーゴ ㊿ ニジェール ㊿ マダガスカル

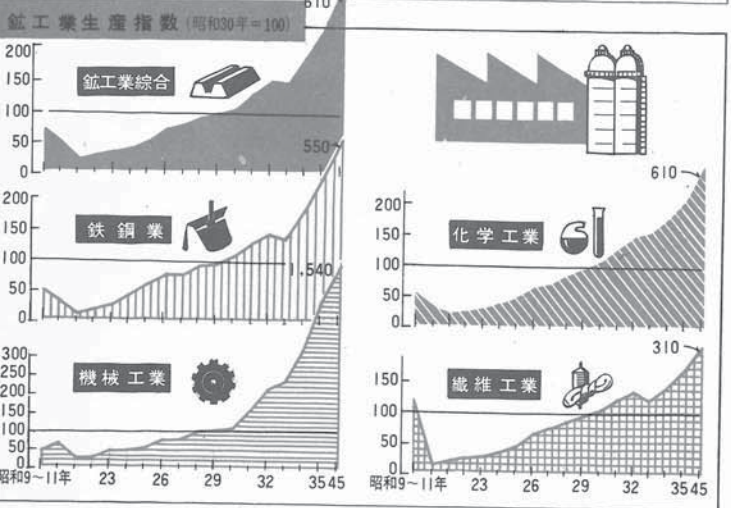
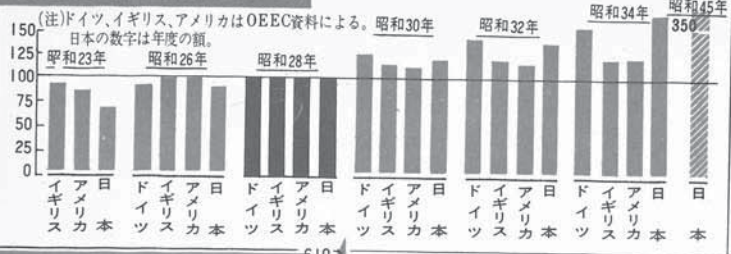
未加盟国
ここでは加盟が問題になりながらまだ認められない国を挙げ、スイス、モナコなどの加盟を表明していない国は除いた。

世界の東西対立のうち
■は西側 ■は東側
■はAグループを含む
■第三勢力を示す

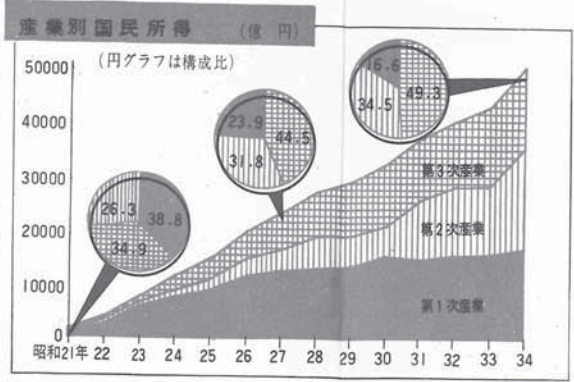


① 韓国 ② 北朝鮮 ③ 北ベトナム ④ 中華人民共和国 ⑤ 西ドイツ ⑥ 東ドイツ ⑦ 南ベトナム ⑧ モンゴル

1961年3月現在



日本の産業地帯と軍事基地を展望する



グラフの見出し語については「経済理論用語」「日本経済用語」も参照ください

(グラフと地図の見かた)

- 各グラフには所得倍増計画の実現年度における数字を入れてある。
- 実質国民所得とは一年間に生産された財貨とサービスの総額である。
- 鉱工業生産指数は年度が下のグラフと共通する。
- 産業別国民所得の第一次、二次、三次産業の内容は本文その項参照。
- 工業地帯のうち苫小牧、大分鶴崎、日向各地帯の産業には計画が含まれる。

